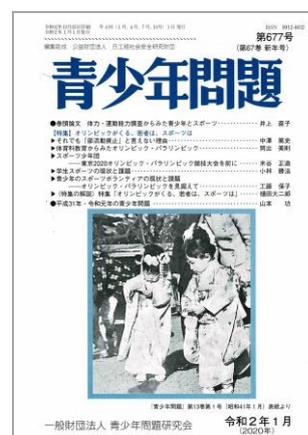
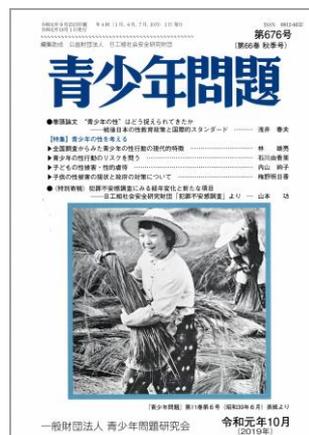
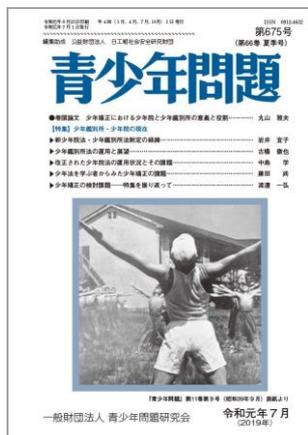


概要報告書

2019 年度

事業種別	広域安全事業
団体名	一般財団法人青少年問題研究会
事業名	季刊誌『青少年問題』の刊行
<p>当財団は、公益財団法人 日工組社会安全研究財団の助成により、季刊誌『青少年問題』第 675 号(第 66 巻夏季号、2019 年 7 月)、第 676 号(第 66 巻秋季号、2019 年 10 月)、第 677 号(第 67 巻新年号、2020 年 1 月)の編集・発行事業を行った。</p> <p>第 675 号の巻頭論文は丸山雅夫「少年矯正における少年院と少年鑑別所の意義と役割」、特集テーマは「少年鑑別所・少年院の現在」として、岩井宜子、古橋徹也、中島学、藤田尚の 4 本の論文を掲載した。</p> <p>第 676 号の巻頭論文は浅井春夫「“青少年の性”はどう捉えられてきたか—戦後日本の性教育政策と国際的スタンダード」、特集テーマは「青少年の性を考える」として、林雄亮、石川由香里、内山絢子、梅野明日香の 4 本の論文を掲載した。</p> <p>第 677 号の巻頭論文は井上直子「体力・運動能力調査からみた青少年とスポーツ」、特集テーマは「オリンピックがくる、若者は、スポーツは」として、中澤篤史、岡出美則、米谷正造、小林勝法、工藤保子の 5 本の論文を掲載した。</p> <p>その他各号、連載の「現場から見た青少年問題」等を掲載した。</p> <p>毎号豪華執筆者をそろえ、わかりやすく、かつ内容が濃いことが季刊誌『青少年問題』の誇りである。</p>	



注) 上記の報告書は、助成対象団体が作成した報告書です。(公財)日工組社会安全研究財団では、記載された事業の内容等に関するお問合せには対応できませんのでご了承ください。